

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果(花園小学校)

平均正答率

自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

	国語	算数	理科
花園小	同等	下回った	下回った
埼玉県	67	64	65
全国	65.6	63.2	63.3

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	花園小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	97.7	94.8	94.4
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	85.5	83.0	81.5
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	93.8	91.2	90.4
	新聞を読んでいる(週に1回程度以上)	6.1	13.0	13.8
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	84.8	74.1	71.1
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる	83.2	81.6	78.2
	昨年度までに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	84.7	81.7	77.3
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	66.5	61.7	59.4
教科への関心	国語の勉強は好きだ	66.4	60.7	59.2
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	96.9	93.1	91.8
	算数の勉強は好きだ	78.7	62.4	62.5
	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	97.8	94.0	93.3
	理科の勉強は好きだ	85.5	81.1	79.7
	理科の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思う	83.2	78.7	77.2
ICTの利活用	昨年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した	65.6	61.6	58.2
	学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した	49.7	46.6	43.9
	学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した	13.8	23.2	22.5
	学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、週に3回以上使用した	17.6	22.9	21.7
	平日、1日あたり1時間以上スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っている	8.4	9.4	9.2
その他	自分には、よいところがあると思う	84.0	82.0	79.3
	将来の夢や目標をもっている	84.0	81.3	79.8
	人の役に立つ人間になりたいと思う	92.3	95.5	95.1
	今住んでいる地域の行事に参加している	57.3	50.4	52.7

【質問紙分析】

- ・「毎日朝食を食べている」割合が全国の割合と比べて高いのは、同じ時刻に寝て同じ時刻起きる習慣が身に付いている児童が多いからであると考えられる。
- ・「国語や算数の授業で学習したことが将来役に立つ」と考える児童の割合が全国の割合と比べて高いのは、将来の夢や職業について考える時間を設けているからだと思われる。
- ・「週に1回程度以上新聞を読んでいる」割合が全国と比べて低いのは、読みものをする習慣が身に付いていないことが原因だと考えられる。（全国も13%台と割合が低いが、本校はその半分以下の6.1%である。）そのため、新聞を読む時間を設ける（タブレット等を通して）取組を行う必要がある。

全国の平均正答率と比較して大きく上回った問題○と課題のある問題●とその理由

【国語】

- ・○国語 1 二
（理由）出題の趣旨は「言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える。」であるが、国語や学級活動をはじめとする授業の中で、相手と適切なやり取りの仕方を指導している結果だと考えられる。
- ・○国語 3 二
（理由）出題の趣旨「文章に対する意見や感想を伝え合い、自分の文章のよいところを見つける。」において、全国の平均をやや上回っている。過去2年の国語の校内研究で、書く力が身に付いてきた結果だと考えられる。
- ・○国語 3 三 アイウ
（理由）出題の趣旨は「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。」であるが、授業において、漢字の意味や適切な使い方を指導している結果だと考えられる。
- ・●国語 2 一（1）
（理由）出題の趣旨は「登場人物の相互関係について、描写を基に捉える。」であるが、物語の内容を正しく把握できていないと考えられる。
- ・●国語 2 三
（理由）出題の趣旨は「表現の効果を考える。」であるが、物語の全体像と関わらせて捉えることに課題があると考えられる。
- ・上記2つの●から、物語を読んで内容を把握することに課題があるといえる。

【算数・数学】

- ・○算数 1（3）
（理由）出題の趣旨は「示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる。」であるが、授業において、示された場面を書き表す活動を取り入れている結果であると考えられる。
- ・○算数 1（4）
（理由）出題の趣旨は「示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる。」である。正答率は4割弱であるが、全国を上回っている。授業において、自分の考えを書く活動を行っているからであると考えられる。
- ・○算数 3（1）
（理由）出題の趣旨は「表の意味を理解し、全体と部分の関係に着目して、ある項目に当たる数を求めることができる。」であるが、授業において、式の意味を考えて立式させる活動を行っているからであると考えられる。
- ・●算数 2（2）
（理由）出題の趣旨は「百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる。」であるが、日常の具体的な場面に対応させながら割合について理解したり、基準量と比較量との関係を理解したりすることができていないと考えられる。
- ・●算数 3（3）
（理由）出題の趣旨は「目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる。」であるが、問題文と必要な情報との関連づけに課題があると考えられる。
- ・●算数 4（1）（2）（3）
（理由）出題の趣旨は「正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる。」「図形を構成する要素に着目して、長方形・ひし形の意味や性質、構成の仕方について理解している。」であるが、特に、プログラムの問題において、図形の構成の仕方を把握することに課題がある。

【理科】

○2 (1) (2)

(理由) 出題の趣旨は「メスシリンダーという器具を理解している」「メスシリンダーの正しい扱い方を理解している。」であるが、授業で器具の名前とその扱い方をおさえているからであると考えられる。

○2 (4)

(理由) 出題の趣旨は「自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。」であるが、授業において、自分の考えを書く活動を行っているからであると考えられる。

○4 (2)

(理由) 出題の趣旨は「予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができる。」であるが、授業において、自分の予想や考えを書いて発表する活動を行っているからであると考えられる。

●2 (3)

(理由) 出題の趣旨は「自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる。」であるが、予想と照らし合わせながら結果を捉えたり、自他の考えの比較を通して自分の考えを見直したりしながら、多面的に考えることに課題があると考えられる。

●3 (2)

(理由) 出題の趣旨は「問題に対するまとめを導きだすことができるように、実験の課程や得られた結果を適切に記録している。」であるが、観察、実験などの過程や得られた「結果」を適切に記録することに課題があると考えられる。

●4 (4)

(理由) 出題の趣旨は「水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解している。」であるが、水の姿の変化(固体・液体・気体)を把握しきれていないからであると考えられる。

課題への取組・改善策**【国語】**

- ・辞書を引いて文章中の意味を理解させ、語彙を増やして文章の理解に繋がります。
- ・授業の中で、話し合いの目的をはっきりさせることで、順序立った考えをもてるようにします。
- ・(ねらいに即して) 自分の言葉で書く活動を続けます。
- ・授業の中で、根拠を基にして文章を読み取れるようにします。

【算数・数学】

- ・授業の中で自分の考えを伝え合う場を設定し、子供たちに、理解したことをアウトプットさせます。
- ・知識・技能を高められるよう、ドリルパーク等を活用し、隙間時間等にたくさん問題を解かせます。
- ・知識が定着するよう、既習学習をくり返し行わせて確実に身に付けられるようにします。
- ・日常生活の問題では、日常生活を想起させ、結び付けて学べるよう取り組みます。

【理科】

- ・授業の中で、多面的に考えられるように、多くの考えに触れさせます。
- ・自分の考えを見直すときに、理由を言えるようにします。
- ・実験や観察の結果の記録の仕方を丁寧に指導します。
- ・授業の中で、考えをアウトプットする場を設定し、理解を促進させます。

【その他】

- ・新聞(タブレット含む)を読ませ、新聞の構成やわかりやすい表現に慣れさせて、文章を読み取る力を高めます。
- ・自己肯定感を高めるために、「失敗する経験も大切であること」「挑戦することは大切であること」等について、道徳の授業や日常生活の中で高められるようにします。
- ・国語・算数・理科が好きであることから、疑問点を自ら調べるよう声をかけます。